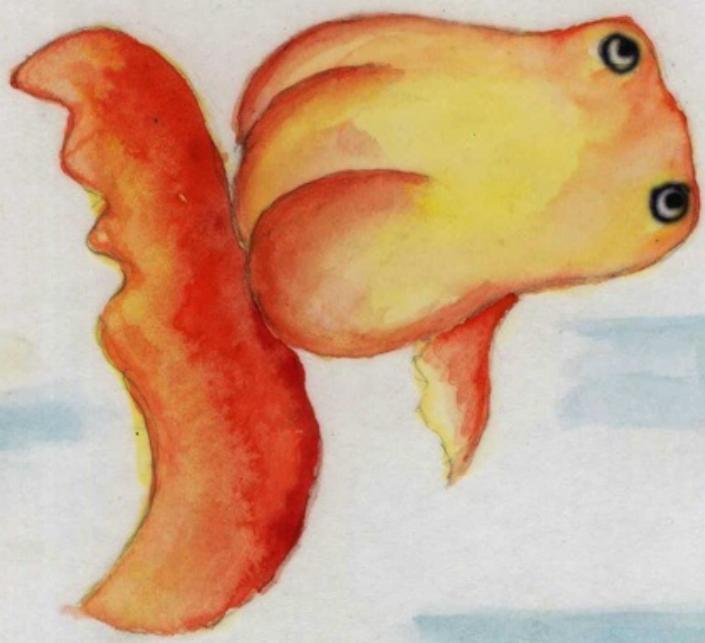


さかさまきんぎょ ギヨンギ



ここ コラボ村の いけには、

さかさまになつて およぐ きんぎよがいます。

みんなからは、きんぎよを さかさまにして

ギヨンキと よばれていました。



ゲロツ！ ゲロツ！

「どうして さかさまなの？」

グワツ！ グワツ！

「ふとりすぎじやないの？」

「きみわるいねえ」と

だれも ちかづこうとしません。



ある日、子どもたちが ギヨンキを みつけ

「あれ、あいつ、さかさまだあ」

しんでいるのかなあ？」



「あつ！ うごいた うごいた おもしろい」と
木のえだで たたこうとしました。



いきおいよく　およいで　にげていきました。

パシヤツと　ひっくりかえると

ギヨンキは、おどろいて



ギヨンキが くさのかげで ブルブルふるえていると

そばにいたカエルの

いちばんうえの にいさんが いいました。

「あいつら、いつかギャフンと いわせたいなあー

どうやら カエルも、いじめられたことが あるみたいですね。



すると、

「そうだ！」

「そうだ！」と

あちこちから

さかなたちも でてきて

くちぐちにいいます。

「ぼくのかあさんは、あいつらのなげた石に、
ぶつかって しんじやつたんだっ！」と ギヨンキが、
ふるえたこえで、くやしそうに いいました。

そのとき、いけのみずが ユラツと ゆれて



おおきな なまづがニユツと かおをだし いいました。

このいけ いちばんの めしです。

「そうじやつたなあー・・・

おまえが あまりにかなしむもんじやから・・・

ワシが かあさんは、ほしになつたんだと

いつたんじや

その日からじやなあー、

さかさまになつて そらばかり

みるようになつてしまつて・・・」と

すまなそうに ながいひげを うごかしながらいました。



「それでいつも さかさまに およいでいるんだなあー」と

とつぜん おおきなコイも でてきて いいました。

このいけ
にばんめの
ぬしです。



「うん、でもね。こうしてさかさまになつていると

おおきなそらには、おほしさまがいっぱいです

ひとりぽつちじやないって、きがしてくるんだ……」と

ギヨンキは、さかさまになつて

ふわふわとひれをうごかし

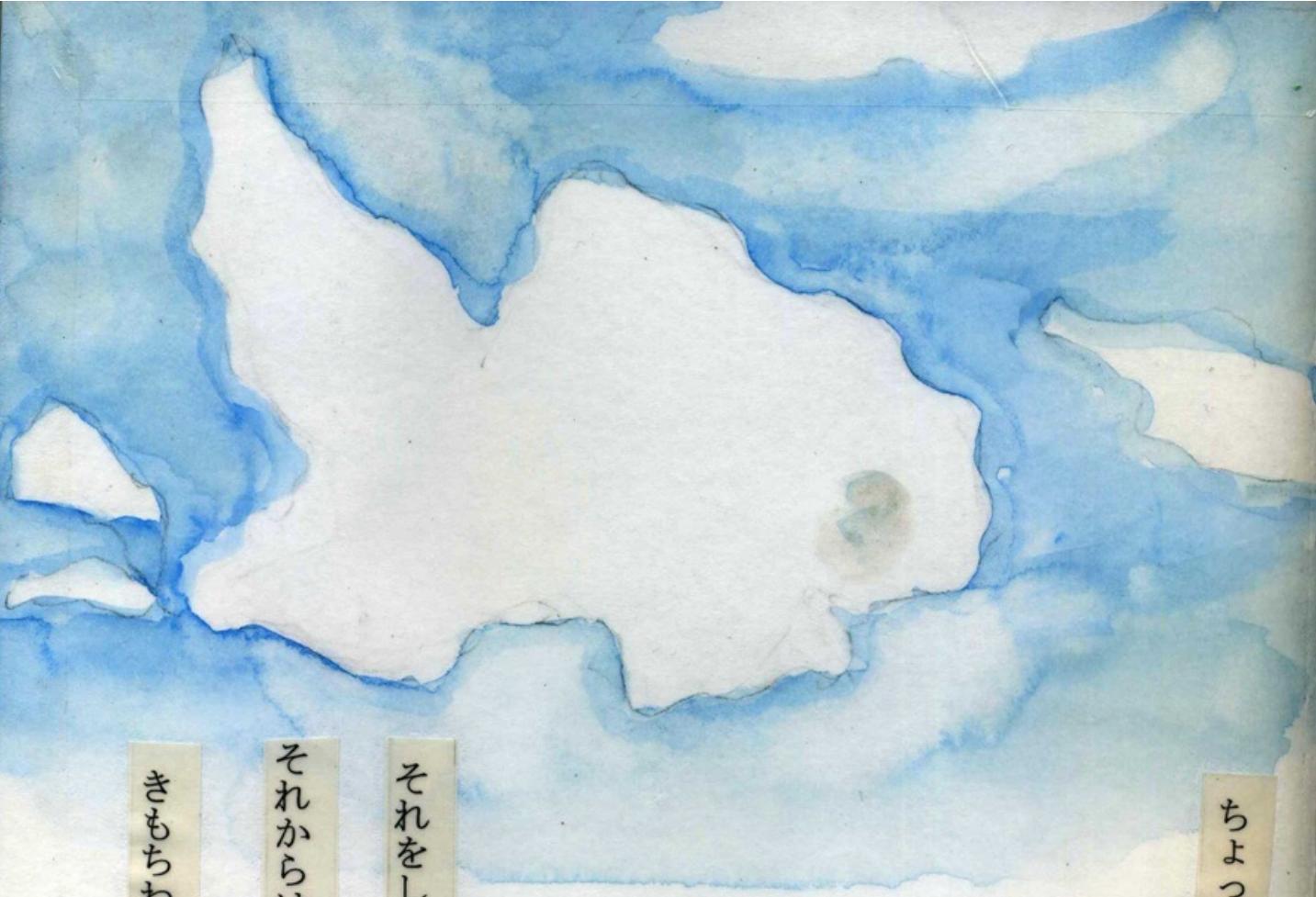
きもちよさそうにいいます。

「それに……それに……

ときどき

くものかあさんにも、あえるんだ……」と





ちよつと うれしそうにいいました。

それをしたた みんなは、

それからはもう ギヨンキのことを

きもちわるいとは、いわなくなりました。

ある日、こどもたちが また、やつてきました。
カエルの すえっこを つかまえようとしています。





「ゲロゲロー！あいつらだあつ！ たすけてえー」

おおきなこえで、たすけをもとめます。

あわてたカエルの にいさんが



すると、どうでしよう・・・

とつぜん いけのみずが おおきくなみうち

おとこのこは、ズルツと

あしをすべらせ いけのなかへ。



おとこの子の あしに なまづのひげが、からみつき

おおこえを あげました。

「ぎやあー！ たすけてえー ひっぱられるー」と

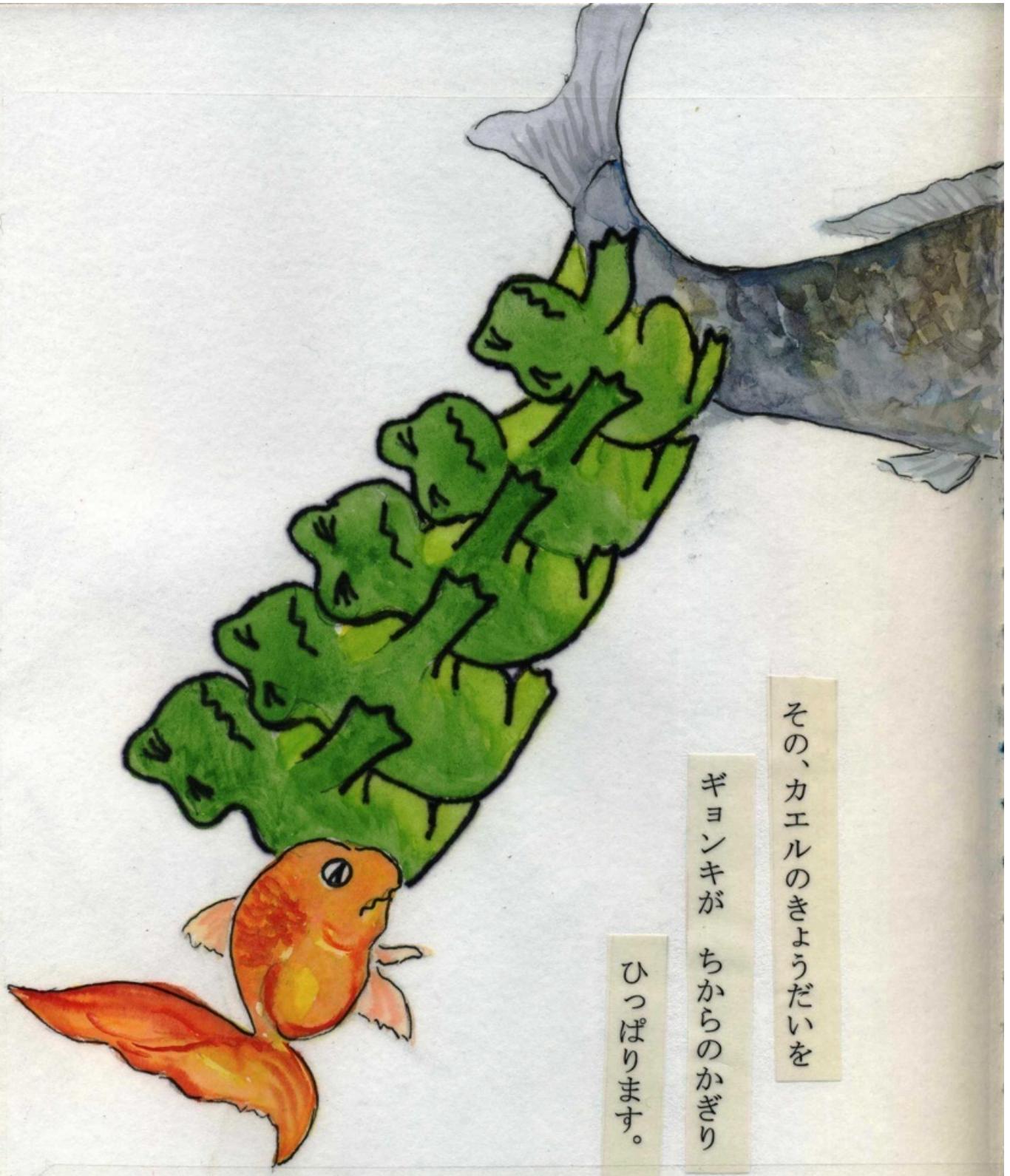


そのなまづの しつぽを コイがひっぱり



カエルのきょうだいが しがみついています。

そのコイを



その、カエルのきょうだいを

ギヨンキが ちからのかぎり

ひっぱります。

おとこのこたちも

あわてて、てにてをとつて

ひつしで たすけようとします。

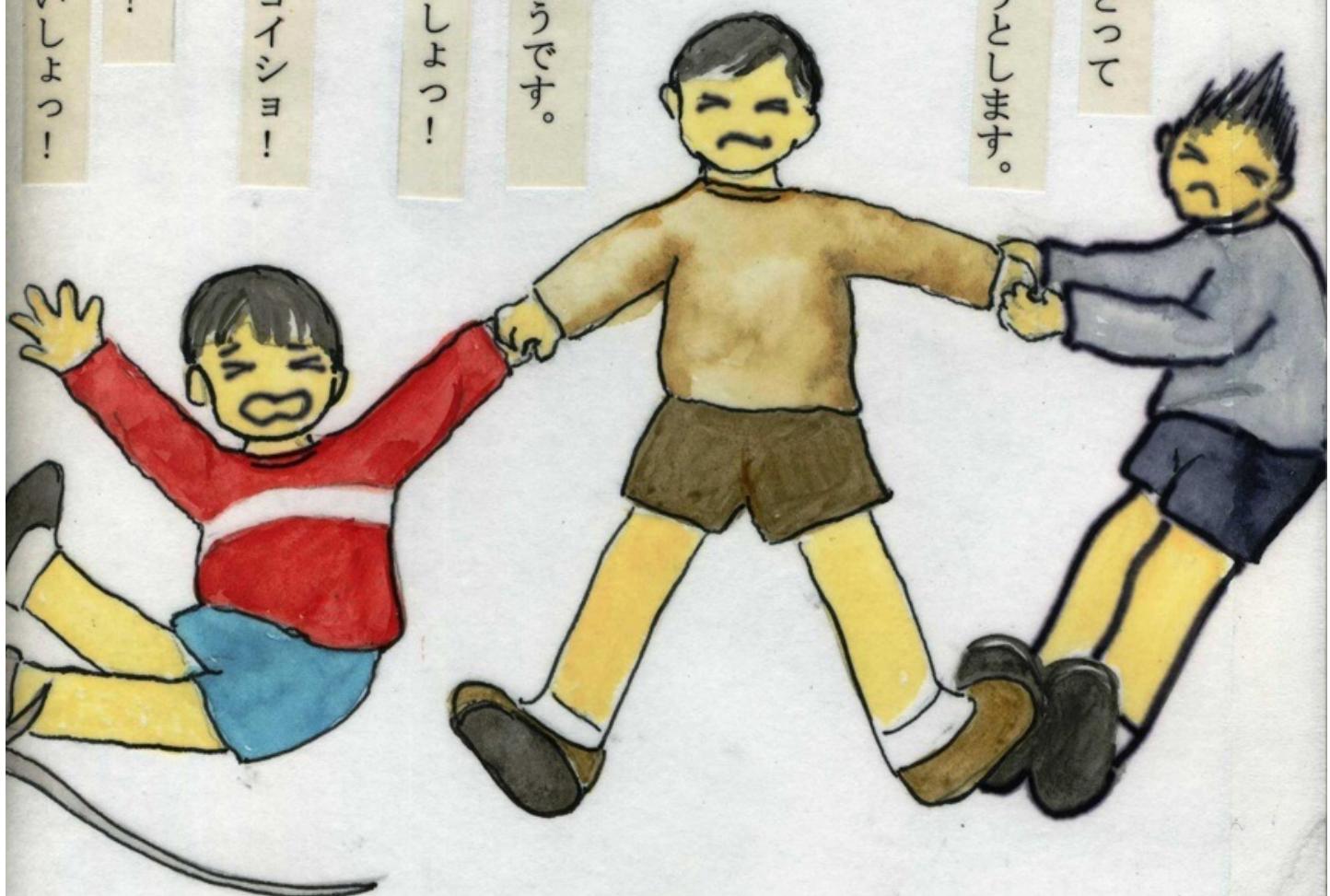
よいしょっ！ よいしょ！

うん よいしょ！

ヨイショツ！ ヨイショ！

よいしょっ！ よいしょ！

まるで つなひきのようです。



ギヨンキたちだって まけていません。

それっ！ ヨイショツ！
ヨイショツ！



しばらく ひっぱりあいが つづきます。

さけびながら あわてて
にげていきました。



おとこのこたちは、ころがるよう
「なにかがいるよー こわいよー」と

おとこのこは、たすかりました。



すると とつぜん おとこのこ
するりと ちからがぬけて



「やつたあー！」

やつたあー！
」



みんな おおよろこびです。

ギヨンキも とびはねて よろこびます。



いまでは、よるになると みんなが

へいわになつた コラボむらの いけでは、

さかさまになつて

およいでいます。



ほしのひかりが

みんなを やさしくてらしています。

しづかな

いけでは、

みずおとだけが ひびき

